

原町4・5・6町内 町政懇談会 会議録

1. 開催日時

平成27年11月14日（土） 午後6時～

2. 対象地区・団体

原町4・5・6町内

3. 代表者名

阿部守夫4町内自治区長、渡邊昇二5町内自治区長、伊藤政憲6町内自治区長
参加者25名

4. 開催会場

町公民館

5. 町出席者

町長 伊藤 勝、建設水道課長 成田信幸、健康福祉課長補佐 渡部栄二、企画情報課長 大竹 享、
企画情報課長補佐 小瀧武彦、企画情報課情報政策係長 佐藤泰久、企画情報課主査 山口則夫

6. 代表自治区長あいさつ 渡邊昇二5町内自治区長（要旨）

本日は町政懇談会ということで大勢の皆さんにおいでいただき誠にありがとうございます。5月の中旬に上原地区で町政懇談会が開催され、今回、原町地区ということで、4町内、5町内、6町内各自治区のことについて今日はたつぷりと行政の方々話し合いをしていただければと思います。各自治区では行政の方々いろいろなお願いをして自治区の環境、生活圏の今後の目標のようなものを模索していかなければならない状況であると思っています。皆さん、忌憚のない意見を出していただき、十分な話し合いをしていただければと思います。それではよろしく申し上げます。

7. 町長あいさつ及び町政方針説明 町長（要旨）

町政懇談会を開催しましたところお集まりいただきありがとうございます。町政懇談会の趣旨であります、町民の皆さんの声を聞くというのは行政にとって大変重要なことであり、できれば各町内、自治区ごとに話し合いができる、こういう場を設けていくべきだろうと思っています。5月に上原地区で町政懇談会を開催し、除排雪や野沢幼稚園跡地整備などに関して話し合いが行われ、その結果非常にいろいろな課題が出てまいりました。町政懇談会は、町から一方的に説明するだけでなく、地域の課題、皆さんが日ごろから思っていること、さらには意見要望など様々あると思いますので、いろいろな意見を提起していただければ非常にありがたいと思います。

さて、私からは今年度11月までのこれまでの取り組みと来年以降の課題などについて説明申し上げご理解を賜りたいと思います。西会津町は昨年、町制施行60周年を迎えました。昭和29年の合併以来60年が経ち、人口が大きく減少し厳しい環境にございます。60年をもう一度振り返ったとき、取り組むべき課題はたくさんあると思っています。そして今回特に皆さんからご意見をいただきたいのが雪の対策であります。これまで西会津町は克雪利雪ということで県下でも早い時期に流雪溝を取り入れてまいりました。それ以前は消雪パイプにより町の中央通りを消雪してきたわけですが、水量が少ないということと、車が通るたびに店舗や住宅等に水しぶきがはねてしまうというような苦情もありまして流雪溝を整備したわけです。この流雪溝ですが当時は水を流すという一つの形をつくって、本来であれば

高低差を設けしっかりとした対応をすべきであったわけですが、しかし当時は既存の側溝を利用して雪を流せるだろうというような過程の中で整備したものであり、このため抜本的な改善が必要であると認識しております。今すぐに解決できる問題ではありませんが、今後どうするか、毎年毎年同じような課題をかかえておりますので、今後の対応について皆さんと意見交換をしてみたいと思っております。

西会津のみならず地方では人口の減少が進んでいます。国では、東京一極集中から地方への人の流れをつくるため、平成 26 年 11 月に地方創生法という法律をつくり、地方に人が来るあるいは交流する、さらに仕事をつくる、こういうことを積極的に取り入れていこう、そのために国がバックアップしていこうということで出されたのが、まち・ひと・しごと創生であります。各自治体ごとに 5 年間のまち・ひと・しごと創生総合戦略をつくってそして国に提示しなければならないことになっており、今、西会津町では若い人を中心にした総合戦略策定町民会議を設置し、総合戦略素案の策定作業を行っているところであります。

このまま推移していきますと、西会津町の人口は、大きく減少するという厳しい状況でございます。そのためには、ただ何もしないでいいのかということ決してそうではありません。そのために今進めているのが、原町ポケットパーク整備であったり、さらには道の駅内の施設増設であったり、最近では商工会が中心になり、ふるさと自慢館の増設を行っています。また農協のご協力をいただき、新しい農協の建物を建築中であります。さらには課題でありました旧加藤キャンディー屋さんの建物も皆さんのご協力をいただきまして、ようやく解決いたしました。まちなかを活性化するためにはこうしたインフラ整備をしっかりとしなければなりませんし、いろいろな条件整備を行っていかねばならないと思っております。

また、現在進めている役場庁舎の旧西会津小学校への移転であります。本来ですと来年度から本格的にこれを進めていこうという計画で、関係する住宅等々にご協力をいただき、また道路についても整備する計画で取り組んできましたが、来年以降本格的な遺跡調査をするということになり、役場庁舎の移転は、こうした遺跡調査の関係で遅くなってしまう状況でございます。

それからまだ構想の段階であります。移転後の役場の跡地については町としては庁舎裏の土地を含めて有効に活用していきたい。それで、そこにはやはり町民文化センターという、そうした構想をもって取り組んでいきたいというふうを考えております。これからはそうしたことも本格的に検討していかねばならないと考えております。また同時に、近年の大規模災害に対して町民の皆さんが避難をする場所も確保していかねばならないわけで、そうした場合にやはり役場周辺を避難所となるような公園にするといったように避難所確保というのも十分検討していかねばならないと思っており、こうした構想を持ちながら今後取り組みを進めていきたいと思っております。

町の教育環境整備では、中学校、小学校の統合が終わり、これから保育所整備を行うこととなります。今建築しようとしているのは、認定こども園の施設であります。保育や幼児の教育を一つの場所でできる形をとったのが認定こども園であります。平成 29 年の開所に向けて進めております。

保育所の整備が終わる平成 29 年度以降は、若い人の働く場、あるいは交流の新たな拠点づくりを進めていくという段階にくるのかなというふうに思っているところであります。そのために町としてやるべきことをしっかりと取り組んでいるところであります。一つは、会津防災事業であり、国に要望してまいりました国道 49 号の藤トンネル手前のトンネル化がいよいよ始まることとなります。11 月 4 日には、会津防災事業の用地幅杭設置が行われたところであります。今後も早期完成に向けて国に要望していきたいと思っております。

現在の町の大きな課題であります。一人暮らしの皆さんが大変多くなってまいりました。このため一人でも暮らせるような冬期間の住まいを確保しておりますが、要望者が多く満杯の状況であります。これからは冬期間でも一人で暮らせるような施設の改修を進めていかな

ければならないというふうに思っておりますし、当然一番大事なのは冬期間の除雪体制をどうするのかということでもあります。

除雪は今までは自分の家の周辺は、自分の家で片付けるというのは当然のことであったわけですが、やりたくてもできないあるいは危険性があるというのを考えたときにやはりこれからは地域的あるいは役場で自分たちができる範囲はどこまでなのかということ話し合い取り組んでいかなければならない課題だろうと思っております。そうした取り組みをこれからはしっかり対応していきたいと思っております。そして、まちなかもそうですが、これからは野沢中央通りだと思っております。ブルドーザーで押すにも押す場所が無いわけでありますから、流雪に加え、消雪、消すというところに力点を置きながら取り組んでいきたいと私は考えております。効果の検証が必要ですがロードヒーティングのような技術で消すという方法もあります。

今日は皆さんからご意見をいただき有意義な町政懇談会にしていきたいと思いますのでよろしくお願いたします。

8. 野沢町内の雪処理対策の進め方について 企画情報課長（要旨）

野沢町内の雪対策につきましては、ここ数年大雪が降っているということもあり、皆さん大変苦労されていると思っております。こうしたことから町では来年度総合的な雪対策計画を立てたいと考えております。その前に、区長さんはじめ、皆様方にアンケート、また、座談会などを開きながら、その内容を踏まえて計画を作っていくということでもあります。

この計画の中には、当然機械除雪や流雪溝、消融雪施設といったハード的なものもあるわけですが、その前に最近の事例として、高齢者の増加、それから一人暮らしの世帯が増えているといったようなことで、自分の家の周りの雪を片付けることができない人が増えているため、そうした方々への対応が課題になっております。野沢町内の雪処理の現状ですが、これまでは野沢町内克雪活動実行委員会が中心になって行っております。また自宅周辺は自分で流雪溝に投入し、高齢者の方は自分でできない場合は誰かにお願いして、また除排雪協力員などが協力してやっており、基本的には自分で雪処理をしているのが現状です。ところが新たな課題として流雪溝に雪を出せない家が出てきているわけです。それが高齢者だったり一人暮らしだったり、また空き家も増えています。よく高齢者の方へのボランティアということで除排雪協力員にお願いできるのではといわれますが、除排雪協力員は社会福祉協議会からの依頼で冬期間、高齢者等の安否確認を行うのが基本的な業務で、除排雪は家の前の雪かき程度であり、本来、除排雪のボランティアではないわけですが、誤解されている状況であります。こうしたことから、除排雪ボランティア制度などは今後の課題になってくると思っております。続いて新たな課題への対応ということで、これまでは雪の自己処理が当然のことであったわけですが、高齢化や管理されない空き家の増加など新たな対策が必要となっております。このため自治区やそれぞれの家庭の皆さんが自分でできること、自助、それから協力してできること、共助、それから行政にお願いすること、公助、こういったことを皆さんとの話し合いを踏まえて、どのように役割分担をしていったらいいのか体制を整備していきたいと考えております。このためまず、自治区等での座談会なども開催させていただければと思っております。また自治区長さん、それから抽出世帯へのアンケートを実施したいと考えております。さらに克雪活動実行委員会など町内には12の除雪組合がありますのでそうした組織の聞き取り調査なども実施したいと考えております。そしてそれらの内容を踏まえ、新たな総合的な雪対策計画に反映させていきたいと考えております。

計画では、自治区等で取り組んでいる雪処理の紹介、それから行政が行う雪処理のサービス、有償で処理する制度の確立やボランティア体制の整備なども検討していきたいと考えております。

さらに雪を活かした町の活性化など雪氷熱を使った冷房など、自然エネルギーの利活用と

いった新たな考え方を取り込んでいくとともに、当然雪処理の担い手の確保をどうしたらいいのか、冬期間の道路の確保、特に集中的に雪が降ったときの道路交通の確保をどうしたらいいのか。それから雪を融かすような、消雪、融雪そういった施設の整備はどうしたらいいのかなど、来年度を目途に町としまして雪対策の総合計画を作りたいということであります。皆さんにはアンケートや座談会でご協力いただくこととなりますので今後ともよろしく願いいたします。

9. 町事業の概要「町道小学校線の工事スケジュールと今冬の除雪について」 建設水道課長(要旨)

町道小学校線は、旧西会津小学校の校舎に役場庁舎を移転すると交通量の増加が見込まれることから安全な通行を確保するため拡幅を行うものであります。

拡幅にあたっては支障となる建物の解体撤去、また用地の買収が必要になりますので、地権者等と交渉を行い、これまでに用地の買収及び支障建物の解体撤去を行ってまいりました。

進ちよく状況ですが、当初今年度中に拡幅工事に着手し、来年度には工事を完了させる予定で進めていたわけですが、旧小学校の跡地が横町館跡という文化財の包蔵地であることが判明し、急きょ予定を変更することになりました。

工事をする前に、この遺跡の発掘調査を行いまして遺跡の全容を明らかにする必要があります。今年度は試掘を実施しましたが、来年度本格的な発掘調査を実施するというので、役場庁舎の移転、町道拡幅工事は発掘が終了次第、発掘の進捗状況に合わせてスケジュールを決めていくこととなります。したがって来年度1年間は発掘調査になりますので次年度以降の工事になります。

次に、小学校線の除雪についてですが、小学校線は小学校から役場までの間と、小学校から上のほうに上っていく路線ですが、基本的には除雪ドーザーでの押し出しの除雪で対応しております。縦ライン、ヒノヤさんから旧小学校に向けての下りについては流雪溝を一部活用しながら旧小学校の校庭に雪を入れております。

今冬も縦ラインは基本的に校庭に入れるようにします。一方、旧小学校から役場への横ラインは、旧小学校から下に雪を落として、また空いているところに雪を押ししていますが、本年度も周辺の建物が無くなりましたし、また下のほうにスペースがありますので、そこに押し出す方法で皆さんの生活に支障を来たさないように除雪を進めていく予定です。

10. 町事業の概要「原町ポケットパーク整備事業について」 企画情報課長(要旨)

原町ポケットパークは、丸井呉服店さんの向かいの加藤キャンディー屋さんの建物等を解体し、その跡地をベンチや休憩できるスペース、できればトイレなどを設置し、ポケットパークを建設する事業であります。平成25年度より原町地内の事業予定地の建物所有者と協議を進めてきたところであります。なかなか進ちよくが見られませんでした。地元区長さんのご協力をいただき、本年10月に、建物所有者と補償契約を締結することができました。来週より建物の解体に着手することとなります。解体終了後には用地の測量を行う予定です。

その後、用地交渉を経まして、実施設計業務を年度内に行う予定です。実際にこれから用地を測量して土地所有者との用地交渉をしなければなりません。そして用地交渉が済み次第、実施設計、どのようなポケットパークにするのか設計を行い、来年度、施工していきたいと考えております。実施設計を行う場合には、当然地元の皆さんにも加わっていただき、地元の商店街、それから近所の方々と一緒になって、どのようなポケットパークにしたらいいのか検討していきたいと考えております。内容としましては駐車場、トイレ、休憩できるベンチなどを整備したいという計画であります。実施設計を行う際には地域の皆様方のご協力をよろしくお願いいたします。

1 1. 地域課題「流雪溝の改良等の除排雪について」 建設水道課長（要旨）

北側流雪溝の改良、水量を増やすなり、拡幅するといった考えはないか、それから業者委託などにより必要な水量の再調査を行えないかという質問についてであります。野沢の流雪溝は農業用水路と道路の側溝、これを組み合わせた形で利用しています。流雪溝の本線は、本町地内で北側と南側、北線、南線と呼んでいますが、この二つに分岐し、北線はさらに原町地内から細かく分岐しています。流雪溝として利用するために北線の側溝は断面が 500 ミリのものが入っております。しかし、北線はかなり延長が長く、また分岐も多いことから、ご存知のように投雪時間を細かく区切って利用いただいております。そういったことで1時間なり 30 分という時間の中で処理していただいております。順調なことばかりではないという状況について認識しております。そういった中で流れをよくする方法はないかと前から要望が出されており、詰まりの多い箇所について流れをよくするため、側溝の内面を塗装する対応を毎年実施しております。昨年度は原町の南線を実施し、今年は野沢駅前通りの内面塗装を行っていただきました。これにより、ある程度流れがよくなり詰まりが解消する一定の効果が出ております。今後は、やはり根本的な流雪溝の構造、また水量を専門の業者にもう一度調査してもらって、その結果に基づき整備を進めていくというように考えているところであります。

次に、中央通りの消雪パイプ再整備についての質問であります。野沢中央線は、国道時代、地下水利用の消雪パイプで雪処理をしていました。しかし、水量不足や砂などによる詰まりと路面排水の悪さもあり、効果的な消雪ができなかったため、現在は流雪溝に変更しています。

現在ある消雪パイプは全施設が再利用不可能で、全てを再整備する必要があります。再整備には、まず、ボーリング調査を行い水量が十分確保できるかを確認します。水量を確保できる見通しが立てば、井戸、ポンプ、管を布設することに併わせ、排水を良くする舗装のうち直し、状況によっては側溝の入替えもあり、大規模な事業となります。これらを総合的に考慮しながら、将来的な導入について検討していきたいと考えております。

次に、ふるさと自慢館脇の道路の除雪を実施できないか、また丸井呉服店脇の道路の坂道が凍結するため対策を取れないかという質問についてであります。ふるさと自慢館脇の町道原町南 1 号線は、幅員が約 2 m と狭く、大型除雪機械が入れないため、町の除雪路線となっておりません。町では、町内の狭い道路のため、手押しの除雪機械を野沢地区克雪活動実行委員会に貸与しておりますので、本路線の除雪について、今後、町、商工会、克雪活動実行委員会の三者で協議していきたいと考えております。

丸井呉服店脇の原町南 2 号線は、幅員が狭く南向きに勾配がある路線です。路面に溝を切るグルーピングは既に施工しており、排水が良くなることで滑りに対する一定の効果はありましたが、道路表面の凍結防止までには至りませんでした。今後は、自治区等のご協力をいただきながら、凍結防止剤を散布するなどの方法で対応していくように現在検討しているところであります。

次に、公民館駐車場の除雪についてであります。公民館では、新館の一階部分と東隣の空きスペースを駐車場としています。東隣の駐車場は、町道野沢中央線や町道保育所線に押し出し除雪ができないため、新春交歓会等の駐車スペースを広く必要とする際に、ダンプトラックで積み込みの運搬排雪をしています。町としましては、公民館を利用する皆さんのため、運搬回数を増やすことができないか現在検討しているところであります。

1 2. 地域課題「子どもの遊び場の確保について」 企画情報課長（要旨）

旧西会津小学校の校庭が閉鎖され、子どもたちの遊び場がなくなったため、校庭に遊び場を整備する考えはないかという質問であります。現在進めている旧西会津小学校への役場庁舎移転については、横町館跡の遺跡発掘調査が必要なことから、発掘調査終了後、計画どおり移

転を進めることとしています。校庭については、町民の皆さんの駐車場等に利用するため、全面を舗装することとしており、安全面からも子どもの遊び場を整備することは困難であることから、他の町有地の利活用による子どもの遊び場の確保について検討してまいりたいと考えております。

1 3. 地域課題「防災行政無線について」 企画情報課長（要旨）

4町内では、防災行政無線の音が小さく、内容が分からないため工夫してほしいという質問についてであります。町では、防災行政無線が聞こえにくいなど自治区からの要望に対し、機器の修繕等を行い対応しているところであり、今後、現地を業者と確認し、スピーカーの向きや音量について早急に調整してまいりたいと思います。

1 4. 意見交換等

【質問等】

旧西会津小学校の埋蔵文化財の発掘調査は必ず実施しなければならないのか。それから4町内では防災行政無線が聞こえにくいので改善してほしい。

流雪溝については、水がいつ流れてくるのか分からない。そもそも流雪溝の構造について理解していない。このためいい加減に投雪してしまい詰まってしまう。流雪溝についての説明会をやってももらえないか。

【町】

旧西会津小学校の発掘調査については、現在既に、校舎やプールが整備されているわけですが、県の指導で発掘調査を実施しなければならないことになりましたので、皆様のご協力をいただくしかないと思っております。

防災行政無線については、業者とともに現地調査を実施します。

流雪溝については、水の押す力によって雪が流れるため、水量とともに流雪溝の傾斜が問題になっています。このため、構造や水量の再調査をしながら、スムーズに使えるように進めていければと考えております。

【質問等】

ケーブルテレビ放送センター屋上のパラボラアンテナの汚れが気になる。受信感度が落ちているのではないかと。綺麗になれば景観も良くなると思う。

【町】

早速その状況を確認したいと思います。

【質問等】

コヤナ商店さんの倉庫から、しょうぶ苑の通り、1号線だと思いますが、ここの流雪溝の整備についてどのように考えているのか教えてもらいたい。整備してもらうことによってスムーズに除排雪できるようになる。

【町】

全体の調査を行い、既設の流雪溝の大きさや分水なども絡みますので、どのようにすればいいのか検討していきたいと思っております。まずは調査を実施したいと思います。さらには、新しい道路整備の構想なども持ちながら検討していきたいと思っております。

[意見]

先ほどから話題になっている北側の流雪溝ですが、雪が詰まる原因は新田呉服屋さんの前のS字カーブのところ。直してほしいと要望しているのは恐らくS字カーブです。

[質問等]

原町ポケットパーク整備事業について国土交通省の認定を受けたのはいつか。このような大きな事業の情報が町民の一部に漏れているのは問題だと思うがいいのか。

[町]

町では平成25年3月に計画の認定を受けています。認定を受けた市町村はホームページ等で誰もが計画を見られるように公表しなければならないことになっています。

[質問等]

先ほど話があった原町南2号線の急勾配の下りですが、高齢者等の利用頻度が高いので改善について検討してほしい。それから町道南裏線の田崎さんと大竹さんの出口のところのグレーチング、また、長谷川総合商事さんの前の舗装等の段差について補修を検討していただきたい。

[町]

道路の補修については現地を見て対応を検討したいと思います。

[質問等]

小型除雪機械については野沢町内克雪活動実行委員会が受け皿となって運用するということが、実態としては非常に難しいと思います。将来的に実施組織、誰が除雪作業を行うのか全体的に総合的に考えていただきたい。

[町]

一人暮らし世帯や空き家が増えている中で、全て克雪活動実行委員会が行うというのは難しいと思いますので、町としてもどうすればいいのか対応を検討していかなければならないと考えています。今後、克雪活動実行委員会の会議等で話をさせてもらい、除雪作業員が必要という場合には町として検討していかなければならない課題であると思っています。

[質問等]

丸井さんの脇の道路ですが、路面に溝を掘ってもらったが、あれでは不十分。道路脇に側溝を付ければ水はけが良くなり改善する。融雪剤を散布しても水と一緒に流れてしまい効果はない。買物やごみの排出などで利用する人が多い道路なので検討していただきたい。

また、子どもの遊び場について、旧西会津小学校が今は立入禁止になっているため、子どもたちが遊ぶ場所がない。今度整備される上原の公園は、子どもたちが伸び伸び遊べるようなスペースを取り入れて設計してもらいたい。

[町]

丸井呉服店脇の道路については大きな側溝を入れることは幅員がないため困難ですが、別の方法で対応できないか検討していきたいと思います。

子どもの遊び場に関しては、現在、9町内の野沢幼稚園跡地を公園にしようということで地元の皆さんと協議をしているところです。子どもの遊び場の確保について話をしていきたいと思います。

また、保育所を小学生の遊び場として提供できないか内部で検討します。

[質問等]

路面の補修について、同気さんから国道までの間の県道マイロード、それから西会津高校の芝草の端から国道の交差点まで、さらに牧橋、牧橋は安座のオトメユリを鑑賞するために通る道路。スムーズに通行できるように対応をお願いしたい。

[町]

マイロードについては県に要望していきます。西会津高校脇と牧橋については、舗装面がひどくなってきましたので計画的に補修していきたいと思います。なお、危険性が高い箇所を優先して補修していますのでご理解いただきたいと思います。

[質問等]

① 防災行政無線が聞こえにくい。火事が発生した時、どこで発生したのか分からない。ケーブルテレビと連動して流すことはできないのか。

② 公民館脇の除雪について、運搬除雪の回数を増やして対応したいという説明だが、1カ月に何回実施するといった計画を教えてください。

③ 流雪溝の問題について、区長会と克雪活動実行委員会で現場を確認しようということになったので行政も協力してもらいたい。

④ 野沢保育所から野沢中央通りまでの新しい道路であるが一方通行であるのに、逆走する車両があるようなので徹底してもらいたい。

[町]

① L字放送を導入し、緊急の場合はテレビに字幕が出るようにしましたので火災、地震など緊急の場合はテレビでも確認できるようにしました。

② 運搬除雪については、雪の降り具合による作業になるため、なかなか計画を立てることが困難です。除雪を行う際は地域の皆さんにお知らせしますのでご協力をお願いします。なお、回数を増やすことについては早朝除雪との調整、除排雪車両確保が必要になるため検討させていただきたいと思います。

③ 町では引き続き、克雪活動実行委員会と連携を図りながら対応していく考えです。

④ 野沢保育所前の道路は、保護者の送迎車両が渋滞しないように迂回路として整備し、一方通行にしました。逆走の実態については調査しますが、考えられるのは保育所が保有しているマイクロバスではないかと思います。マイクロバスは児童送迎車両のため例外としていますのでご理解いただきたいと思います。